

- 協議完了時
- 変更時
- 工事完了時

建築物の名称 ACN秋葉原SQUARE

| | |
|------------------------------------|--|
| 建物用途 事務所 | 敷地面積 176.69 m ² |
| 建築物の所在地 東京都千代田区神田須田町2丁目19番11、12 | 建築面積 127.15 m ² |
| 地域 和泉橋地域 | 延床面積 1,330.14 m ² : 計算対象 1,330.14 m ² |
| 竣工日 2024年7月2日 | 階数 地上 12階 地下 0階 |
| | 構造 S造 |

省CO2効果

削減率
21.9 %

優良環境建築

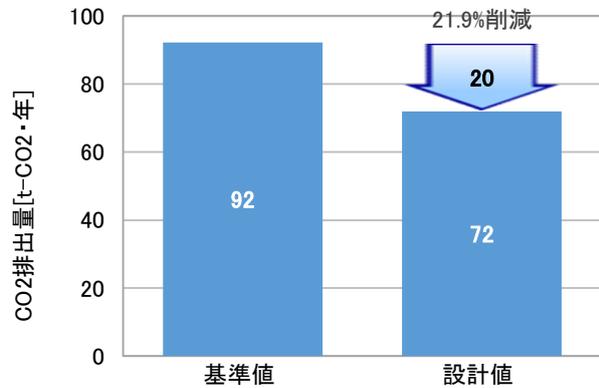


省エネルギー基準

基準一次エネルギー消費量 1,882.9 [GJ/年]
 設計一次エネルギー消費量 1,468.7 [GJ/年]
 BEI(設計値/基準値) 0.78

CO2排出量

基準値 92 [t-CO2・年]
 設計値 72 [t-CO2・年]
 削減量 20 [t-CO2・年]
 削減率 21.9 %



省CO2対策の概要

Low-E複層ガラスで熱負荷を低減し、高効率ビルマルとLED照明で省CO2を図った。



省CO2設備手法

- 高効率分散熱源
- 高効率中央熱源
- 高効率空調機(中央熱源)
- 変流量制御(中央熱源)
- 大温度差送水(中央熱源)
- 変風量制御(中央熱源)
- 外気導入量制御
- 外気冷房
- 自然換気(自動制御)
- 全熱交換器
- 高効率電動機
- 変風量制御
- 送風量制御
- LED照明 (範囲:全館)
- 人感センサ (範囲:トイレ)
- 明るさセンサ
- スケジュール制御
- 初期照度補正
- 高効率給湯機
- 自動給湯栓
- 小流量シャワー
- BEMS
- その他

省CO2建築手法

- Low-E複層ガラス
- 複層ガラス
- 庇・ルーバー・バルコニー
- 外壁高断熱化

面的エネルギー活用

- 地域冷暖房を導入
- 地域冷暖房を将来導入
- 既存地域冷暖房から受入
- サブプラントを設置
- 特定電気事業者等を導入
- 特定電気事業者等を将来導入
- 特定電気事業者等を受入
- 熱融通
- 電力融通
- 面的対策その他
- エリアエネルギーマネジメントシステム(AEMS)を導入

創エネ手法

- コージェネ
- 太陽光発電
- その他

非常時の対応

- 非常用発電機(消防設備用以外)
- その他

未利用・再生可能エネルギー活用

- 下水熱
- 河川水熱
- 地下鉄排熱
- 地中熱
- バイオマス
- 太陽熱利用
- その他

環境負荷低減の取り組み

- 敷地と建物の被覆対策
- 水循環
- 緑の量・質の確保、生態系への配慮